

～令和3年2月 データから見た業界の動き～

2月報告のポイント

緊急事態宣言延長による影響大、 営業手法の改革や業態変更への取り組みはじまる

■ 概 況

2月の県内景況のD.I値は、業種全体で売上高▲48ポイント（前年に比べ▲16）、収益状況▲54ポイント（前年に比べ▲22）、景況感▲54ポイント（前年に比べ▲22）で、全ての項目で前年同月を下回った。

製造業では売上高▲60（前年に比べ▲30）、収益状況▲60（前年に比べ▲20）、景況感▲60（前年に比べ▲15）となった。

金属製品、業務用又は生産用機械器具の製造業では、一部医療機器、コンピューター関連機器の需要増から受注が増加しているとの報告がある一方で、1月初旬に発せられ、二度の延期で長引く緊急事態宣言の影響によって来県観光客数は少なく、製麺、土産用菓子製造、酒類製造では売上を前年比・前月比共に下げた。

また、テレワークの常態化により裏地・傘地・ネクタイ、宝飾等も売上は昨年度比▲50%と大きく落ち込んでおり、回復の目処はたっていない。

非製造業では、売上高▲40（前年に比べ▲7）、収益状況は▲50（前年に比べ▲23）、景況感▲50（前年に比べ▲27）となった。

生鮮食料品小売では、一般消費者向けの売上はあまり落ち込みは無いが、ホテル・旅館・飲食店向けの業販は県外への移動又は夜間営業の自粛・規制が大きく影響、タクシー利用者も少ないとの報告であった。

建設業界は個人住宅に関する設備工事は安定した受注が続いているが、公共工事や大型工事は春以降減少が予測されており、景況感をより悪化させている。

中央会では2月、長期間に渡る不安定な経済状況への対応策について追加調査した。

飲食料品製造（麺類・ワイン酒造）業者が独自にECサイトを立ち上げ直販を強化、ジュエリーや織物製品製造業では組合員の販売促進のため、組合が中心となって商品や組合員企業の紹介サイト（インターネットHP）を立ち上げ、商談やネット販売も可能としたことが報告として寄せられた。

ホテル・旅館業の事業者が集まる組合のHP上では、宿泊客の立場・目線でホテル・旅館の特徴を紹介、美容業では電子決済手段を取り入れ来客数増加を果たす店舗もあると言う。建設業界ではwebを介して取引先との商談や打ち合わせが取り入れられるなど営業方法の見直しも進んでいる。

一方、古紙のリサイクルを進める事業者からは経済の停滞やテレワークの推進によって古紙が減少、さらに供給先である中国が輸入を規制し、国内での再生紙・段ボール需要も落ち込んでいる。事業者は新規事業に取り組むか転業も視野としてイノベーション（革新・刷新）していく必要があるとの現状の厳しさを伺わせる報告がされた。

新型コロナウイルス感染症を起因とする実経済の不安定さは終息の目処が立たない、共に生きる覚悟を決め、企業等の置かれる状況を把握していち早く手を打つことが望まれる。中央会では新年度に向けて専門家による現状分析や経営基盤の強化、経営力向上の取組支援を強化することとしている。

■ 業界からのコメント (業界ごとの詳細は、以下のコメントを参照)

● 製造業

食料品 (水産物加工業)	水産物加工業では、緊急事態宣言発令の影響でホテル・レストラン・居酒屋用の需要が極めて少なく全体の売り上げは前年同月比▲64.2%(35.8%)であった。
食料品 (洋菓子製造業)	洋菓子製造では、一部の企業はテレビ放映等の効果があり好調、全体の売り上げは前年同月の119%となった。
食料品 (麺類製造)	緊急事態宣言の発令により県外からの観光客が減少、お土産品等の売り上げは前年同月よりも▲50%減少している。
食料品 (パン・菓子製造業)	和菓子製造では、スーパーなど一般流通の売り上げはそれほど悪くないが、お土産用の販売については旅行客が少ないことから減少している。
食料品 (酒類製造業)	緊急事態宣言の発令により大量消費地である東京都など大都市圏のレストランや飲食店は時短営業または休業を行っている。 売上げ・収益・景況感いずれの項目も前年同月よりも減少している。
繊維・同製品 (織物)	テレワークの推進によって裏地・傘地・ネクタイなどの受注が減少、対前年同月比▲50% 組合では2月からハタオリマチ商店街サイトを立ち上げ、組合員企業によるオンラインでの販売を開始した。(富士吉田地域)
繊維・同製品 (織物)	前年同月よりも▲50%程売り上げは減少している。今後は5月に開催予定のバイヤー向け展示商談会のJFWジャパン・クリエーションに出展を行い新規取引先の開拓を目指す。(西桂地域)
木材・木製品製造	例年2月は仕事量が減少するが、一般向住宅が好調であるため、プレカット需要が伸びた。アメリカでの住宅ブームにより米材は国外への供給が間に合わず総じて木材の値段が高騰、木材の不足も発生している。
家具製造	家具業界は2～3月は繁忙期である。現状はコロナウイルスの影響は思ったほど感じられずに例年と同等の売り上げであるが、今後の見通しについては予測出来ない。
印刷・同関連業	イベント・セミナー・会議等が中止となっているため、関連する印刷物が減少している。ワクチン接種がある程度進み、コロナウイルス新規感染者が減少し、収束の目処が立たないと改善は見通せない。

<p>窯業・土石 (山砕石)</p>	<p>大型の土木工事が少なく、在庫数量は増加傾向、人員は退職による自然減も加わって、景気感は大きく後退していると感じている。 少量であるがリニア関連工事による資材需要が見込まれるので、今後は工事が進捗し発注された箇所の全てで受注されることを期待したい。</p>
<p>鉄鋼・金属 (金属製品製造業)</p>	<p>医療関係の部品やコンピューター関連部品等は受注が活発となり受注量は昨年同等に戻りつつあるが、半導体の輸入が出来ないため、製品として完成せず、売上げに繋がらない。</p>
<p>一般機器 (業務用機械器具製造業)</p>	<p>業務用機械製造の業界では昨年末頃から受注が増加傾向、ただし新年度がはじまる春以降は新型コロナウイルスの感染者数の状況によって左右され不透明な状況が予測される。</p>
<p>一般機器 (生産用機械器具製造業)</p>	<p>生産用機械製造業界は大手ものづくり等企業の設備投資意欲が高まらず、依然として厳しい状況が続いている。会社全体での休日を増加又は生産調整を行っており、雇用維持のため助成金を活用している状況</p>
<p>電気機器 (電気機械部品加工業)</p>	<p>仕事の単価及び内容が細かくなっている。営業の範囲を県外に拡大し営業活動を行っている。</p>
<p>電気機器 (電気機械部品加工業)</p>	<p>半導体装置関係の仕事が増えてきたが、どのくらい続くかは不透明</p>
<p>宝飾 (貴金属)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により外出が控えられ、宝飾品をはじめとするファッション製品は売上げ・収益が減少している。 昨年借入を行った緊急融資資金の返済時期が来た時が心配である。</p>

● 非製造業

卸売 (塗料)	昨年同月の売上げが悪すぎたため、2月は前年同月よりも30%程増加した結果となった。
卸売 (紙製品)	前年と比較すると販売単価はわずかに上回るものの古紙全体の取扱量が減少している。新型コロナウイルス感染症拡大の影響から不要不急な外出が制限されたほか、テレワークが推進され、新聞・雑誌・広告・オフィス紙などが減少、今後は古紙業界は厳しい状況となるため新規事業への取り組みやイノベーション、転業などしていかなければならない。
卸売 (ジュエリー)	新型コロナウイルス感染症拡大の影響から国内外の催事が中止となり、販売額が減少。徐々に催事は再開してきたが、売上・収益面は相変わらず厳しく先行きも極めて不透明である。 組合では、オンライン商談を開催、この他山梨ジュエリーミュージアム内で組合員のジュエリーを販売するショップ運営を開始し、こちらは好調な売れ行き。
小売 (青果)	緊急事態宣言が発令されているため外出自粛傾向となり、人の動きが少ない。スーパー等の売上げは安定してあるが、飲食店関係の消費が低迷しているため全体の売上高は前年同月よりも減少している。
小売 (水産物)	緊急事態宣言が解除されるまで売上げは回復しないと予測、旅館・ホテル、飲食店の需要が無い状況
小売 (電気機械器具小売業)	新型コロナウイルス対策として事業者向け及び家庭向けのエアコン需要が拡大している。売上げ・収益等、全体の数字を押し上げている。
小売 (事務機小売業)	春シーズンは本来事務機等の入れ替え、消耗品等の追加購入で繁忙期となるが、コロナウイルス感染予防対策のためのアクリルパーテーションやアルコール等の購入が優先されているため、事務用品やオフィス家具の入替が延期されている。
小売 (ガソリン)	原油価格上昇により卸売価格が高騰している。
商店街	外出自粛傾向のため、商店街への来店数が減少している。
商店街	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により商店街組合の収入源である駐車場の利用者(来街者数)が減少。歳末セールや組合新春プレミアム商品券の販売を行い来街者増や各店舗の売上げアップのため取り組みを行ったが、次年度どのように取り組んだら良いのか妙案が浮かばない。
宿泊業	第2回目の緊急事態宣言によって観光目的の宿泊客が減少している。特に、宿泊客の多い一都三県での緊急事態宣言の解除やGoToトラベルキャンペーン再開が見えず、各組合員は経営の先行きも見通せない状況

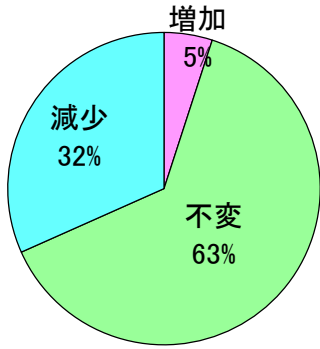
美容業	1月は甲府市内の対象店舗でPayPay決済をするとキャッシュバックが受けられる「がんばろう甲府キャンペーン」により売り上げが伸びた店舗があったが、2月は来客者数が減少した。決済手段の多様化に応じるなど、あらゆる年代の消費者から指示される店舗運営が必要
一般廃棄物処理	求人応募状況が芳しくない。都市部で収入が0円で生活が出来ない人がいる報道が多い中、生活費が比較的安く就業の機会が多い地方においてこの現状は歯がゆい。
警備業	2月は昨年同様で土木・建築工事は天候に恵まれたこともあり売り上げは増加したが、イベント警備の売り上げはほぼゼロとなり、全体的には減少した。国土省の令和3年度公共工事設計労務単価が発表となったが、前年平均約2%の僅かな引き上げ幅のため、今後の受注価格の上昇は厳しい。3月は土木工事もほぼ終了し、春祭りやイベント警備収入は見込めないため、6月に掛けては業界では非常に厳しい状況となる見込みである。また、東京オリンピック開催の可否が今後のイベント開催に大きく影響すると考えている。
建設業 (総合)	前年同月に比べ、件数▲37%、請負金額では▲18%とそれぞれ減少した。2月末累計でも、件数は▲0.3%、請負金額では▲5%とそれぞれ減少となっている。
建設業 (型枠)	先月に続き大幅に工事が減少している。春から夏にかけて大型の公共工事や民間工事も始まりそうだが、現在はリーマンショック以来の不況を感じており、組合員の何社かは従業員の雇用を守るため雇用調整助成金を申請している。
建設業 (鉄構)	鋼材価格が上昇中、製品価格に転嫁できず収益を圧迫しつつある。県外への移動が自粛傾向となっているため各企業ではWebで県外との情報交換や打ち合わせを行っている。
設備工事 (管設備)	分譲住宅を中心に持ち直しの動きが見える。売り上げの増加に期待したい。
運輸 (タクシー)	大都市圏の緊急事態宣言の発令により、本縣市街地の飲食店等も県の要請によって時短営業や休業したことによりタクシーの利用者が減少している。コロナウイルスが収束し以前のような生活が出来ることを期待している。

■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値（好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値）

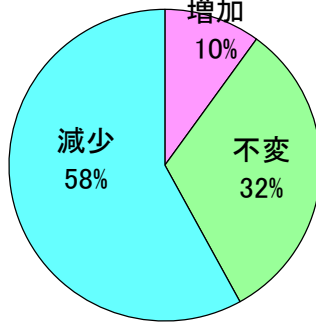
対前年・前月・当月	製 造 業			非 製 造 業			合 計		
	2020/2	2021/1	2021/2	2020/2	2021/1	2021/2	2020/2	2021/1	2021/2
売 上 高	-30	-40	-60	-33	-50	-40	-32	-46	-48
収 益 状 況	-40	-50	-60	-27	-43	-50	-32	-46	-54
景 況 感	-45	-55	-60	-23	-43	-50	-32	-48	-54

※（（良数値÷対象数）×100）－（（悪数値÷対象数）×100）＝D.I値

売上高（前年同月比）



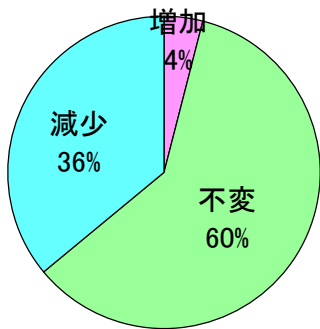
令和2年2月



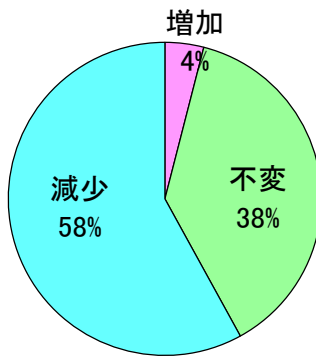
令和3年2月

- ・ D I 値 ▲48（前年同月比▲16）
- ・ 業種別 D I 値
 - 製造業 ▲60（前年同月比▲30）
 - 非製造業 ▲40（前年同月比▲7）
- ・ 前月比 D I 値
 - 製造業 ▲20
 - 非製造業 +10

収益状況（前年同月比）



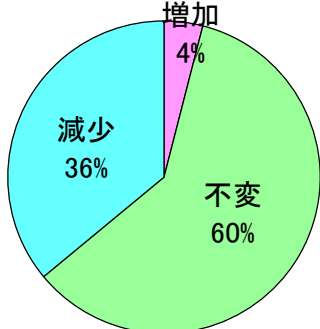
令和2年2月



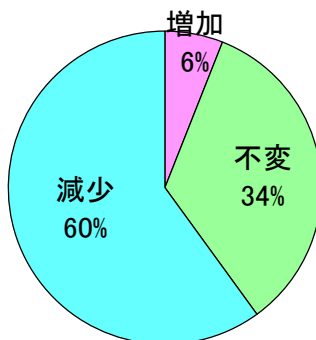
令和3年2月

- ・ D I 値 ▲54（前年同月比▲22）
- ・ 業種別 D I 値
 - 製造業 ▲60（前年同月比▲20）
 - 非製造業 ▲50（前年同月比▲23）
- ・ 前月比 D I 値
 - 製造業 ▲10
 - 非製造業 ▲7

景況感（前年同月比）



令和2年2月



令和3年2月

- ・ D I 値 ▲54（前年同月比▲22）
- ・ 業種別 D I 値
 - 製造業 ▲60（前年同月比▲15）
 - 非製造業 ▲50（前年同月比▲27）
- ・ 前月比 D I 値
 - 製造業 ▲5
 - 非製造業 ▲7